

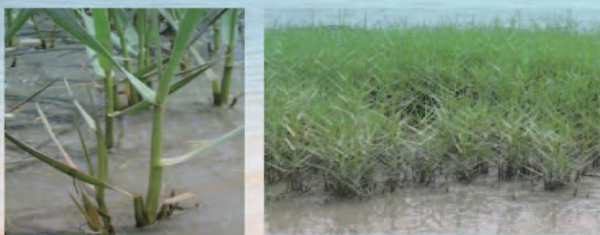
#### • カサネカンザシゴカイ

中国や日本およびロシアなどアジア沿海でよく見られ、潮間帯の固形基質に付着している。非意図的に持込まれたものであり、船底に付いて長距離伝播する。貝類、サンゴ、海藻、岩、船底、埠頭壁などの固形物に固着する。ドック点検時の船底で優勢な付着が見られ、世界的にも重要な汚損生物となっている。また貝類養殖に非害を与え、カキを減産させることもある。



#### • スパルティナ

主に塩性の湿地に生長し、中国での分布は広い。ヨーロッパから意図的に持込まれたものであり、海岸堤防の保護および土質改良に使われると同時に、飼料や製紙原料としても用いられる。侵入力は極めて強く、急速に自然拡散して行く。沿岸の塩性植物の生育空間を奪い、マングローブ林を消滅させ、貝類、カニ類、海藻類、魚類などの多種の生物の窒息死亡を招く。そして栄養を奪うことで、コンブやノリなどの藻類養殖に壊滅的な打撃を与える。



#### 私たちのできることは何であろうか

- 海洋外来生物の侵入問題の重大性を認識し、それらに関する情報や危害を理解する
- 海岸生物に注意し、見かけない動物や植物を発見したら、行政担当部局や研究者に連絡する
- 個人が飼育する外来生物種を自然環境に放さない
- 釣り、ダイビングまたは船遊びに行った時は、あなたの装備や船が外来生物の運び役をしないよう検査し、必要な場合よく洗浄する
- 使わなくなった生き餌や藻類を捨てないこと。水路を通して海まで到達することもある
- 水槽や観賞池、養魚池の排水を放流してはいけない。下水道を通して海に達する可能性もある
- 家族や友達にも外来種に対する警戒心を呼びかける
- 海洋外来生物への監視活動を支援する
- 行政や研究者の海洋外来物種に対する調査や管理活動を支援し協力する



**海洋外来生物の侵入を防止する  
ために、  
私たちに何ができるか。**

NOWPAP DINRAC

Adress: No.1 Yuhuinanlu, Chaoyang District, Beijing

100029, People's Republic of China

Tel: (86) 10-84665309

URL: <http://dinrac.nowpap.org>

NOWPAP  
西北太平洋行動計画

## 海洋外来生物の侵入とは？

外来生物の侵入とは、当地にない種が自然または人的な原因で原分布区域から新区域に移住する地理拡張過程を指す。経済の発展に伴い、貿易および運輸機能が大きく進展することで、多くの海洋生物の侵入が生じている。

## 海洋外来生物の侵入ルート

### • 船舶運輸とバラスト水

全ての遠洋船舶の船底にフジツボ類、貝類、ヒドロ虫類、棲管多毛類や海藻類などの固着生物が付着している。さらにカニ類、エビ類、巻貝さらには稚魚のような移動力のある生物も、船舶に取り入れられたバラスト水の中で生存しながら他の海域へ移動する。

### • 意図的な持込み

観賞用の意図的な生物の持込みは海洋外来生物侵入の主要ルートとなっている。持込みは経済的発展とともに増え、生物の管理の不備で野外に逃げ出し、野外での繁殖により、海洋生態系や生物多様性を脅かすようになっている。

### • 水産養殖

水産養殖は海洋外来生物侵入の重要ルートである。有効的な管理に失敗し、養殖用生物は自然環境に逃げ出し、そこで繁殖と分布拡大をすることで、在来の生物種や生態系に悪影響をもたらしている。

## 海洋外来生物侵入の危害

### • 生態系に対する危害

- ◇ 生態系の機能を変化させ生物の多様性を脅かす
- ◇ 在来生物の遺伝的多様性を破壊する



### • 経済に対する影響

- ◇ 直接的な損失：海洋外来生物は養殖漁業に巨額の損失をもたらし、同時に、その除去や制御に使う各種の経費も膨大である。
- ◇ 間接的な損失：直接的な経済損失に比べると、社会、生態系、環境、資源などに対する間接的な損失は評価が難しい。例えば、大量の殺虫剤や農薬の使用は深刻な環境汚染になり、また外来生物の付着は船の運航などの公共の問題にも影響を及ぼしている。

### • 公衆健康に対する影響

多くの海洋外来生物種が人間の病原体そのものか病原体の伝播媒介生物であり、流行的伝染病を起こし、人間の健康を脅かすこともある。特に非常に小さな生物は容易に人体に侵入し、病気を伝播する。しかも、それを発見して駆除するのはきわめて困難である。

## よく見られる海洋侵入物種

### • マンハッタンボヤ カタユウレイボヤ

マンハッタンボヤは非意図的に持込まれたもので、中国、日本、ロシアの沿岸域に定住している。またカタユウレイボヤは中国、韓国、日本、ロシアの港湾の岸壁に固着して生活している。これらのボヤは、船底に付着することで長距離伝播する。

この2種のボヤは船底や埠頭壁に付着しているのが普通に見られる。また在来の貝類や海藻類の付着面を奪い、養殖業に不利益を与える。さらにこれらのボヤの大量付着は、養殖ナマコの生活空間を奪い大量の溶存酸素を消費することで、ナマコの成長を抑制する。



マンハッタンボヤ



カタユウレイボヤ